

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	394	寺田市民館管理事業	01	01	一般会計
基本施策	39	差別の解消に向け、同和行政を推し進める	03	03	民生費
担当部課名		人権政策部 寺田市民館	02	02	同和行政費
作成者氏名	鈴木 重儀	連絡先 23-8728	102	102	隣保館管理経費
			03	03	寺田市民館管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民		地域住民の福祉の向上を図り、教養・文化を高め、併せて住民交流を通して人権教育・人権啓発を推進し人権尊重の精神を培い部落差別を解消する。
本年度事業内容	1 施設の維持管理 2 福祉活動、教育・文化活動、人権教育・啓発等の交流の場の提供 3 相談事業(生活・職業・教育・福祉・人権)を充実し自立支援を図る 4 貸館事業	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館条例
市内の類似施設		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	3,713	4,125	4,125
委託料	1,497	1,652	1,652
その他	2,216	2,473	2,473
合計(A+B)	10,913	11,325	11,325
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	416	466	466
受益者負担			
その他特財			
一般財源	10,497	10,859	10,859
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	7,021	7,500	7,500			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	地域住民の利用促進を図る。	人	7,021	7,500	7,500
			目標 (7,500)		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

交流を通して確かな人権感覚を養う必要があることから、交流事業の一環として位置付けた各種活動の機会と場の提供を積極的に推進する。また、貸館事業として学校等の関係機関や団体にも、積極的に開放している。

評価	必要性	4	部落差別の解消は、地域住民の福祉の向上と教育・文化の振興を図りながら同時に地域住民の交流の中から確かな人権感覚を養う必要がある。施設の充実を図ると共に、地域のコミュニティーセンターとして、地域住民の利用の促進を図る。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A